

2021年度 第1回日本カプセル内視鏡学会 代議員会 議事録

日 時：2021年2月21日（日）11:30～12:05

会 場：WEB 開催

最初に、議長である田中理事長より代議員総数100名のうち、出席者が91名(委任状提出者17名を含む)であることが報告され、出席者が過半数に達しているため本会議が成立することが確認された。

<はじめに>

JGA(第17回)/JACE(第14回)/IGICS(第14回)/JSMO(第48回)合同学術集会(GI Week)について
第14回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長である山本理事より、開催の報告があった。

<審議事項>

1. 財務委員会

(1) 2020年度(2019年12月～2020年11月)決算報告

加藤智弘理事より2020年度の決算報告が代議員会資料に基づいて報告された。

福田監事より、監査の結果、適正な会計処理が行われた旨の報告があり、異議なく承認可決された。

(2) 2021年度(2020年12月～2021年11月)収支予算案

加藤智弘理事より2021年度の予算案について、代議員会資料に基づいて説明があり、異議なく承認可決された。

2. 人事委員会

(1) 各委員会の欠員補充について

松本理事より各委員会の欠員補充について説明があり、異議なく承認可決された。

<規約委員会>

新任候補：委員長 今枝 博之 先生(埼玉医科大学)

<人事委員会>

新任候補：委員 江崎 幹宏 先生(佐賀大学医学部)

<保険委員会>

新任候補：委員 中山 佳子 先生(信州大学医学部)

3. 認定医制度委員会

(1) 今後の JACE 学会セミナーのあり方について

江崎理事より、今後の JACE 学会セミナーのあり方について説明があり、承認可決された。

1) e ラーニング以外の学会認定セミナーについて

- ① JACE が企業と共催する教育セミナーを学会認定セミナーとし、参加した JACE 会員（学会員および準学会員）に対し、資格認定ポイントを与える。
- ② ポイント認定に関して、認定医制度規則および認定技師制度規則を改訂する。
- ③ JACE が企業と共催する学会認定セミナーは 2021 年度から実施する。

2) JACE 主催の初学者向け（医師向け）小腸および大腸セミナーについて

- ① 今後の開催は行わず、e ラーニングの受講を必須とする。

3) JACE の e ラーニングシステムについて

- ① 新規資格取得（認定医資格および認定技師資格）の際の受講を必須とする。
- ② 新規資格取得および資格更新の際のポイント認定とする。

4) e ラーニング受講料値上げの検討

- ① 諸費用の値下げ交渉を事務局が行う。
- ② 受講料は下記とする。

医師 7000 円→10,000 円、メディカルスタッフ 4,000 円→5,000 円

5) JACE 主催の更新者対象セミナー（現在、学会と同日開催）について

- ① JACE 主催の開催は、2021 年 2 月の第 14 回学術集会内における開催回までとし、以後の開催は行わない。（学会参加者を増加させることが重要）
- ② JACE と企業共催の教育セミナーを更新ポイント対象セミナーとする。

6) 今後 JACE が開催するセミナーのあり方について

- ① 下記にて今後の JACE が開催するセミナーを運営する事とし、認定医制度委員会にて実施に向けて規則変更および各調整など準備を行う。

新規資格取得	資格更新
e ラーニング受講	e ラーニング受講、もしくは、 JACE と企業共催の教育セミナーの受講

4. 認定技師制度委員会

(1) 読影支援技師制度規則の変更について

塩谷理事より、読影支援技師制度規則の変更について説明があり、異議なく承認可決された。

<変更内容>

小腸 CE 読影支援技師資格更新の際に「実績証明書の提出を必要としない」

※大腸 CE 読影支援技師資格更新では必要としていない。

5. 財務委員会

(1) 学会ホームページ会員情報確認システム導入について

加藤智弘理事より、学会ホームページ会員情報確認システム導入について説明があり、異議なく承認可決された。

<内容>

会員情報の更新（所属変更や e メールアドレスの変更）が進まない現状を改善するため学会ホームページ上でご自身の登録内容確認を必須とするシステムの導入を行う。

6. 財務委員会

(1) 今後の収支経過報告および次年度予算案審議について

加藤智弘理事より、今後の収支経過報告および次年度予算案審議について説明があり、異議なく承認可決された。

<内容>

11 月開催の理事会にて実施していた収支経過報告を取りやめ、以後、1 月に決算および次年度予算案に関する審議理事会を追加開催する事とする。

7. 保険委員会

(1) 2022 年度（令和 4 年度）診療報酬改定に向けての学会要望について

大宮理事より、2022 年度（令和 4 年度）診療報酬改定に向けての学会要望について説明があり、異議なく承認可決された。

<内容>

1) 内視鏡的経口カプセル内視鏡留置術

- ①小腸・大腸カプセル内視鏡、ポリペクトミースネアまたは回収ネットによる
- ②小腸カプセル内視鏡、アドバンス挿入補助具

8. 規約委員会

(1) 定款および定款細則の変更について

今枝理事より、定款および定款細則の変更について説明があり、異議なく承認可決された。

<内容>

■定款変更

理事会における議事録署名人の記載変更について下記の通りとする。

「理事会の議事については、法令に定める事項を記載した議事録を作成し、議長および議長より選出された議事録署名人2人がこれに記名押印し、10年間主たる事務所に備え置くものとする。」

■定款細則変更

年会費の支払いに関する規定追加について下記を追記する。

「名誉理事長、名誉会員の会費は免除する」

9. 2023年 第16回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長の承認について

田中理事長より加藤智弘理事が推挙され、理事会で承認されたことが報告され、異議なく承認可決された。

<報告事項>

1. 各委員会報告

1) 総務委員会

- ①中村理事より JACE 会員状況について現状報告があった。
- ②中村理事より e-ラーニング利用状況について現状報告があった。

2) 読影トレーニング委員会

- ①藤森理事より小腸・大腸用カプセル内視鏡(CE)セミナーについて現状報告があった。

3) 認定制度委員会

- ①江崎理事より 2020 年認定資格報告があった。

【認定医】

- ・新規 23 名 ・更新 15 名

【指導医】

- ・新規 20 名 ・更新 6 名

【指導施設】

- ・新規 0 施設 ・更新 4 施設

4) 認定読影支援技師制度委員会

- ①塩谷理事より 2020 年認定資格報告があった。

【小腸 CE 読影支援技師】

- ・新規 25 名 ・更新 37 名

【大腸 CE 読影支援技師】

- ・新規 12 名 ・更新 7 名

5) 学術委員会

- (1) 田中理事長より、下記臨床研究の現状報告があった。

- ①データベース作成委員会での小腸出血における薬剤のケースクロスオーバー解析

- ②パテンシーカプセルの適正使用、安全性、有効性に関する多施設共同前向き研究 (J-POP)

- ③大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究 (ColoCam-J)

- ④カプセル内視鏡内服不可能および内視鏡的挿入補助具に関する全国多施設共同調査

(AdvanCE-J)

- ⑤クローン病におけるカプセル内視鏡検査の有用性・安全性に関する多施設共同前向き研究

(SPREAD-J)

- ⑥血液透析患者における小腸用カプセル内視鏡 PillCam™ SB3 の有効性に関する多施設共同前向き研究 ((PROCEED Study)

6) 情報委員会

緒方理事よりニュースレターVo1. 16 (2021 年 2 月 5 日(金)発行) について報告があった。

2. JGA (第 18 回) /JACE (第 15 回) /IGICS (第 15 回) /JSMO (第 49 回) 合同学術集会 (GI Week) について
松本理事より第 15 回日本カプセル内視鏡学会学術集会の準備状況が報告された。

最後に、田尻久雄名誉理事長から御挨拶を頂き、

12 時 05 分、田中理事長より閉会の辞が述べられ、2021 年度第 1 回代議員会が閉会した。

以上